

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科		
科目名称	発達心理学Ⅱ					授業形態	講義		
科目コード	750026	単位数	2単位	配当学年	2年	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	福富 隆志								
授業概要	<p>本授業の目的は、発達と学習に関わる代表的な理論や具体的な教育実践について学習することを通して、子どもの心身の発達および学習の過程について深く理解し、説明できるようになること、さらに子どもの発達状況に応じた教育的な関わり方について、自分なりの考えを表現できるようになることです。</p> <p>授業では、代表的な発達の領域である感覚、運動、知性、社会性、感情などに関する諸理論を概観するとともに、それらに基づいた具体的な教育実践例についても検討します。さらに、発達の理論や自分自身の体験に基づいて、自らが深く関わることになる教育場面について考え、意見交換することで、発達に応じた教育のあり方について考察を深める機会も設ける予定です。</p>								
関連する科目	初めて発達心理学を学ぶ人に向けた授業をしますが、事前に教育心理学、発達心理学Ⅰを受講しておくこと、より理解が深まるでしょう。								
授業の進め方と方法	スライドや資料を用いた講義形式を中心としますが、映像視聴、グループ討論と意見の発表、課題の実施、質問紙への回答など、積極的に参加してもらおう工夫をしたいと思います。								
授業計画【第1回】	第1回：発達心理学とは何か 発達や発達心理学とは何かについて学ぶ								
授業計画【第2回】	第2回：発達に影響を与える要因 発達に影響を与える要因（遺伝と環境）について学ぶ								
授業計画【第3回】	第3回：感覚と運動の発達 主に乳時期の感覚や運動の発達について学ぶ								
授業計画【第4回】	第4回：愛着（アタッチメント）の発達 愛着の発達と、愛着形成のためのかわりについて学ぶ								
授業計画【第5回】	第5回：知性の発達1：知性はいかにして身に付くか 知性の発達に関する理論を学ぶ								
授業計画【第6回】	第6回：知性の発達2：知性の獲得を促す教育方法 知性の獲得を促す教育方法について学ぶ								
授業計画【第7回】	第7回：社会性の発達1：他者認知と道徳性 子どもの他者認知や道徳性の発達について学ぶ								
授業計画【第8回】	第8回：社会性の発達2：社会性を育む教育 子どもの社会性を育む教育やかわりについて学ぶ								
授業計画【第9回】	第9回：感情と自己の発達 子どもの感情や自己の発達について学ぶ								
授業計画【第10回】	第10回：遊びの発達 子どもの遊びの発達や指導について学ぶ								
授業計画【第11回】	第11回：青年期の発達：キャリア支援 青年期のキャリア意識の発達やキャリア支援について学ぶ								

授業計画 【第12回】	第12回：個性の発達1：知能 知能の発達と、それに応じた教育実践について学ぶ
授業計画 【第13回】	第13回：個性の発達2：パーソナリティ パーソナリティの発達と、それに応じた教育実践について学ぶ
授業計画 【第14回】	第14回：発達につまずきを抱える子どもに対する理解と支援 発達障害を持つ子どもへのかかわりについて学ぶ
授業計画 【第15回】	第15回：振り返りとまとめ これまでの内容を振り返り、自分なりにまとめる
授業の到達目標	(1)発達とは何かや、発達を規定する要因について理解する。 (2)乳児期から児童期までの発達過程および各機能の発達について、系統的に理解する。 (3)乳児期から児童期までの発達課題および教育的なかかわり方について、系統的に理解する。 (4)青年期の発達の特徴と発達課題について理解する。 (5)発達につまずきを抱える子どもについて理解し、対応を検討できる。 (6)自分と特にかかわりのある教育的な場面において、発達に応じた教育のあり方を考察できる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外の学修 【予習】	指定された資料の講義範囲を熟読し、次回の講義内容の概略を把握すると同時に、専門用語の意味等を調べておくこと（1時間）
授業時間外の学修 【復習】	授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理すること（1時間）、また授業終了時に示す課題に取り組むこと（1時間）
課題に対する フィードバック	授業ごとに出す課題やレポートについては、提出された回答をいくつか取り上げながら、解説を行います。
評価方法・基準	①授業ごとに出す課題：50% ②定期試験：50%
テキスト	特に用いません。毎回講義内容に応じた資料を作成し、配布します。
参考書	林創（編著）『発達心理学』（2019、ミネルヴァ書房） その他、必要に応じて図書、資料を紹介いたします。
備考	